

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

(別紙)

- 別紙 1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況
- 別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況
- 別紙 3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

(資料)

- 資料 1 日本看護協会「2040年を見据えた看護提供体制のあり方について」
- 資料 2 看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針
- 資料 3 競合校の志願状況
- 資料 4 名古屋看護学部 高校生アンケート調査報告書
- 資料 5 名古屋看護学部 人材需要アンケート調査報告書
- 資料 6 愛知県 有効求人倍率
- 資料 7 ナースセンター 求人倍率（日本看護協会リリース）

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	愛知県	28,555人	64.8%
2	岐阜県	4,548人	10.3%
3	三重県	2,903人	6.6%
4	静岡県	2,015人	4.6%
5	長野県	729人	1.7%
	全 体	44,100人	100.0%

（令和7年度学校基本調査）

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県等)	充足率		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	愛知県	101.71%	98.96%	103.80%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	保健系	96.79%	91.04%	94.40%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：岐阜保健大学看護学部看護学科

別紙2の2-1

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	24人	24人	24人	24人	24人	24人	
	延べ人数	志願者数	59人	44人	57人	30人	44人	47人
		受験者数	55人	43人	55人	29人	42人	45人
		合格者数	20人	18人	34人	23人	34人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	5人	5人	4人	3人
	実人数	志願者数	43人	27人	38人	23人	28人	32人
		受験者数	43人	27人	36人	20人	27人	31人
		合格者数	20人	18人	33人	20人	27人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	5人	5人	3人	3人
	入学者数	17人	15人	22人	12人	18人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人員	29人	29人	29人	29人	29人	29人
		延べ人数	志願者数	52人	36人	47人	21人	40人
受験者数			52人	35人	45人	20人	39人	38人
合格者数			48人	35人	45人	20人	39人	37人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	2人	2人	0人	1人	2人
実人数		志願者数	51人	36人	47人	21人	39人	39人
		受験者数	51人	35人	45人	20人	38人	38人
		合格者数	48人	35人	45人	20人	38人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	2人	0人	0人	1人
入学者数		41人	27人	38人	10人	34人	30人	
一般選抜		募集人員	22人	22人	22人	22人	22人	22人
		延べ人数	志願者数	97人	94人	45人	28人	16人
	受験者数		85人	77人	33人	22人	12人	46人
	合格者数		65人	59人	33人	19人	12人	38人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		4人	3人	1人	1人	1人	2人
	実人数	志願者数	51人	55人	41人	22人	11人	36人
		受験者数	48人	51人	32人	18人	10人	32人
		合格者数	42人	51人	32人	18人	10人	31人
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	4人	3人	1人	1人	1人	2人
	入学者数	24人	14人	13人	9人	2人	12人	
	共通テスト利用入試	募集人員	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	15人	42人	40人	34人	26人
受験者数			15人	42人	34人	30人	26人	29人
合格者数			10人	42人	31人	30人	26人	28人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	1人	0人
実人数		志願者数	7人	26人	24人	25人	19人	20人
		受験者数	7人	26人	20人	21人	19人	19人
		合格者数	5人	26人	20人	21人	19人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
入学者数		2人	4人	5人	5人	5人	4人	
その他の特別選抜		募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	4人	2人	2人	0人	1人
	受験者数		4人	2人	2人	0人	1人	2人
	合格者数		0人	2人	0人	0人	1人	1人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	4人	2人	2人	0人	1人	2人
		受験者数	4人	2人	2人	0人	1人	2人
		合格者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人	
	合計	募集人員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	227人	218人	191人	113人	127人
受験者数			211人	199人	169人	101人	120人	160人
合格者数			143人	156人	143人	92人	112人	129人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			10人	5人	8人	6人	7人	7人
実人数		志願者数	156人	146人	152人	91人	98人	129人
		受験者数	153人	141人	135人	79人	95人	121人
		合格者数	115人	132人	130人	79人	95人	110人
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	7人	7人	8人	6人	5人	7人
入学者数		84人	62人	78人	36人	60人	64人	

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	1.05	0.78	0.98	0.45	0.75	0.80
歩留	0.59	0.40	0.55	0.39	0.54	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	19人	19人	19人	19人	19人	19人	
	延べ人数	志願者数	24人	39人	40人	44人	45人	38人
		受験者数	22人	37人	37人	40人	42人	36人
		合格者数	10人	19人	23人	28人	24人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	3人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	16人	23人	24人	20人	25人	22人
		受験者数	14人	23人	22人	18人	22人	20人
		合格者数	10人	17人	17人	16人	21人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	3人	2人	0人	1人
	入学者数	9人	16人	12人	21人	19人	15人	
	学校推薦型選抜	募集人員	19人	19人	19人	19人	19人	19人
		延べ人数	志願者数	18人	41人	43人	39人	37人
受験者数			15人	41人	42人	38人	37人	35人
合格者数			15人	41人	42人	38人	37人	35人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	1人	1人	1人	1人	1人
実人数		志願者数	14人	41人	42人	39人	37人	35人
		受験者数	14人	41人	41人	38人	37人	34人
		合格者数	14人	41人	41人	38人	37人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	1人	1人
入学者数		14人	36人	33人	24人	35人	28人	
一般選抜		募集人員	17人	17人	17人	17人	17人	17人
		延べ人数	志願者数	75人	74人	33人	21人	16人
	受験者数		68人	57人	24人	18人	11人	36人
	合格者数		59人	44人	23人	13人	10人	30人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		2人	2人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	48人	41人	29人	15人	13人	29人
		受験者数	45人	36人	22人	12人	10人	25人
		合格者数	44人	36人	21人	12人	9人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	入学者数	31人	14人	5人	3人	3人	11人	
	共通テスト利用入試	募集人員	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	2人	31人	29人	27人	14人
受験者数			2人	31人	23人	19人	12人	17人
合格者数			2人	24人	22人	19人	12人	16人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	1人	1人	0人	0人
実人数		志願者数	2人	16人	16人	19人	5人	12人
		受験者数	2人	16人	14人	13人	4人	10人
		合格者数	2人	14人	13人	13人	4人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
入学者数		2人	0人	4人	4人	2人	2人	
その他の特別選抜		募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	2人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	2人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人	
	合計	募集人員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
		延べ人数	志願者数	119人	185人	145人	131人	114人
受験者数			107人	166人	126人	115人	104人	124人
合格者数			86人	128人	110人	98人	84人	101人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	4人	5人	4人	1人	3人
実人数		志願者数	80人	121人	111人	93人	82人	97人
		受験者数	75人	116人	99人	81人	75人	89人
		合格者数	70人	108人	92人	79人	72人	84人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	5人	4人	1人	3人
入学者数		56人	66人	54人	52人	60人	58人	

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	0.93	1.10	0.90	0.87	1.00	0.96
歩留	0.65	0.52	0.49	0.53	0.71	0.58

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人員	11人	11人	11人	11人	11人	11人	
	延べ人数	志願者数	12人	14人	19人	14人	14人	15人
		受験者数	12人	13人	14人	7人	8人	11人
		合格者数	5人	9人	7人	5人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	4人	2人	1人	3人
	実人数	志願者数	12人	13人	14人	14人	8人	12人
		受験者数	12人	12人	13人	7人	3人	9人
		合格者数	5人	9人	7人	5人	3人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	4人	2人	1人	3人
	入学者数	2人	4人	3人	4人	1人	3人	
	学校推薦型選抜	募集人員	9人	9人	9人	9人	9人	9人
		延べ人数	志願者数	9人	10人	11人	14人	9人
受験者数			8人	10人	10人	12人	9人	10人
合格者数			8人	10人	10人	12人	9人	10人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	2人	2人	4人	0人	2人
実人数		志願者数	9人	10人	10人	14人	9人	10人
		受験者数	8人	10人	10人	12人	9人	10人
		合格者数	8人	10人	10人	12人	9人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	2人	4人	0人	2人
入学者数		7人	8人	8人	8人	9人	8人	
一般選抜		募集人員	8人	7人	7人	7人	7人	7人
		延べ人数	志願者数	18人	46人	27人	7人	10人
	受験者数		17人	31人	12人	2人	4人	13人
	合格者数		12人	27人	5人	1人	4人	10人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		11人	27人	3人	0人	0人	8人
	実人数	志願者数	9人	2人	5人	7人	7人	6人
		受験者数	8人	2人	5人	2人	3人	4人
		合格者数	8人	1人	5人	1人	3人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	1人	3人	0人	0人	2人
	入学者数	1人	0人	2人	1人	0人	1人	
	共通テスト利用入試	募集人員	2人	3人	3人	3人	3人	3人
		延べ人数	志願者数	4人	22人	20人	15人	4人
受験者数			4人	22人	20人	4人	1人	10人
合格者数			3人	17人	6人	4人	1人	6人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	17人	6人	1人	0人	5人
実人数		志願者数	4人	4人	3人	15人	2人	6人
		受験者数	4人	4人	3人	4人	0人	3人
		合格者数	3人	4人	3人	4人	0人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	4人	3人	1人	0人	2人
入学者数		0人	0人	0人	3人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	43人	92人	77人	50人	38人
受験者数			41人	76人	56人	25人	23人	44人
合格者数			28人	63人	28人	22人	18人	32人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			18人	51人	15人	7人	1人	18人
実人数		志願者数	34人	29人	32人	50人	27人	34人
		受験者数	32人	28人	31人	25人	16人	26人
		合格者数	24人	24人	25人	22人	15人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	12人	12人	7人	1人	9人
入学者数		10人	12人	13人	16人	10人	12人	

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
入学定員充足率	0.33	0.40	0.43	0.53	0.33	0.41
歩留	0.36	0.19	0.46	0.73	0.56	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：岐阜保健大学オープンキャンパス

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	387人	405人	①取組概要 受験対象者向けにキャンパスを開放し、大学の特色や入試情報の提供をはじめ、施設見学、施設を利用した体験授業、模擬講義、入試相談、在学生との懇談を実施している。 令和6年度入試対象 (R5年実施) : 計8回 (3/18、5/14、6/11、7/17、8/5、8/20、9/24、11/5) 令和7年度入試対象 (R6年実施) : 計8回 (3/23、5/12、6/9、7/15、8/3、8/24、9/29、11/4) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 令和7年度の参加者数は、405人(前年比18人増)、受験者は116人(前年比8人増)、入学者(前年比33人増)であり、すべての数字が伸びた。特に、入学率が大きく伸びており、質の高いオープンキャンパスの実施ができた。受験者が教員及び在学生と交流しやすいよう、人数を増やし、対応している。入学者総数のうち、このオープンキャンパスを利用して受験生は、令和6年度入試では75%、令和7年度入試では82%と高い数値であることから、今後も、オープンキャンパスが重要であると分析している。なお、令和8年度入試向けには、放課後オープンキャンパスも実施し始めており、主に受験生中心の来学があり、さらなる受験者及び入学者の増を見込んでいる。
うち受験対象者数 (b)	270人	278人	
うち受験者数 (c)	108人	116人	
うち入学者数 (d)	75人	108人	
(受験率 c/b)	40.0%	41.7%	
(入学率 d/b)	27.8%	38.8%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：岐阜保健大学大学案内の送付

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	3554人	3616人	①取組概要 本学に興味を持って資料請求してきた高校1年生から高校3年生の名簿を作成しており、5月に大学案内及び入試ガイドの一斉発送を実施している。また、前年度の3月、該当年度の4月及び6月に、オープンキャンパスに関するリーフレットも発送している。さらに、看護・医療系の職業に興味を持ってもらえるよう、キャリアデザイン講座を開設しており、このリーフレットも発送している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験誌・業者ネット媒体に資料送付するとともに、そこから本学への興味を促すよう、大学案内、入試ガイド及びリーフレット送付を行っている。送付総数は微増、受験対象者と受験者数は減少、入学者数、受験率は微減、入学率は微増。受験対象者数の減少していることから、各業者ネット媒体や紙媒体の再検討が必要である。しかしながら、オープンキャンパス参加者が増加していることを踏まえると、大学案内、入試ガイド及びリーフレット送付による一定の効果があると分析している。
うち受験対象者数 (b)	977人	791人	
うち受験者数 (c)	71人	56人	
うち入学者数 (d)	44人	39人	
(受験率 c/b)	7.3%	7.1%	
(入学率 d/b)	4.5%	4.9%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：岐阜保健大学その他の募集活動

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	1124人	1206人	①取組概要 高校内及び会場を利用した進学相談会を通じて、受験生やその保護者に対し、本学の教育内容をはじめ、入試制度、就職支援、学費減免制度などの特徴を説明し、大学の理解促進を行っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者総数は微増であったものの、他の項目については微減。高校内進学相談会のうち、高校1年生を対象とする相談会についても、積極的に参加している。低学年から早期に接触することで、本学の認知拡大が必要であると分析しており、いずれの相談会についても、オープンキャンパスを告知し、参加を促している。
うち受験対象者数 (b)	331人	311人	
うち受験者数 (c)	35人	30人	
うち入学者数 (d)	32人	26人	
(受験率 c/b)	10.6%	9.6%	
(入学率 d/b)	9.7%	8.4%	

【資料 1】

2040 年を見据えた看護提供体制のあり方について

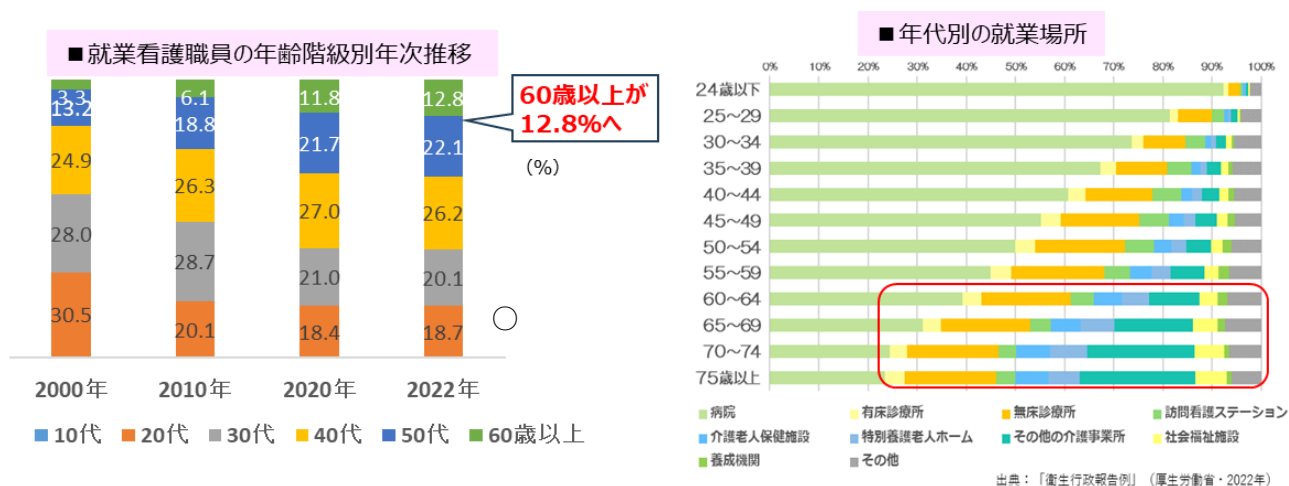
令和 7（2025）年 9 月

公益社団法人 日本看護協会

- 保健・医療・介護は、多くの専門職や関係者等がそれぞれの役割を発揮し、協働することで成立する。看護職が人々のいのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護を提供し、すべての人々がその人らしく生涯を過ごすことのできる社会を実現するためには、多職種との協働が欠かせない。医療・ケアチームの中で共通の目標を持ち、お互いの知識・能力・経験を信頼し、尊重しながら協働することが、最大の目標達成をもたらす。また、様々な場で活躍する看護職が結節点となり、組織を超えた多職種をつなぐネットワークづくりにも貢献する。地域において、各職種の専門性と保健・医療・介護とを結び、連携のキーパーソンとしても看護職の一層の活躍が期待される。

7) 人材確保・育成

- 看護提供体制の基盤は人材の確保・育成である。看護職員就業者数は年々増加し、2023 年には 174.6 万人となり、訪問看護事業所（8.7 万人）や介護保険施設等（16.8 万人）で増加傾向となっている¹⁷⁾。就業者の中で増加しているのは 50 歳以上で、特に 60 歳以上の構成割合が増加しており、2022 年には 12.8%を占めている。60 歳以上では、介護領域等で活躍する看護職員が増えており、在宅での療養や暮らしを支える上で、経験豊かな看護職員が力を発揮している（図表 37）。



図表 37. 就業看護職員の状況

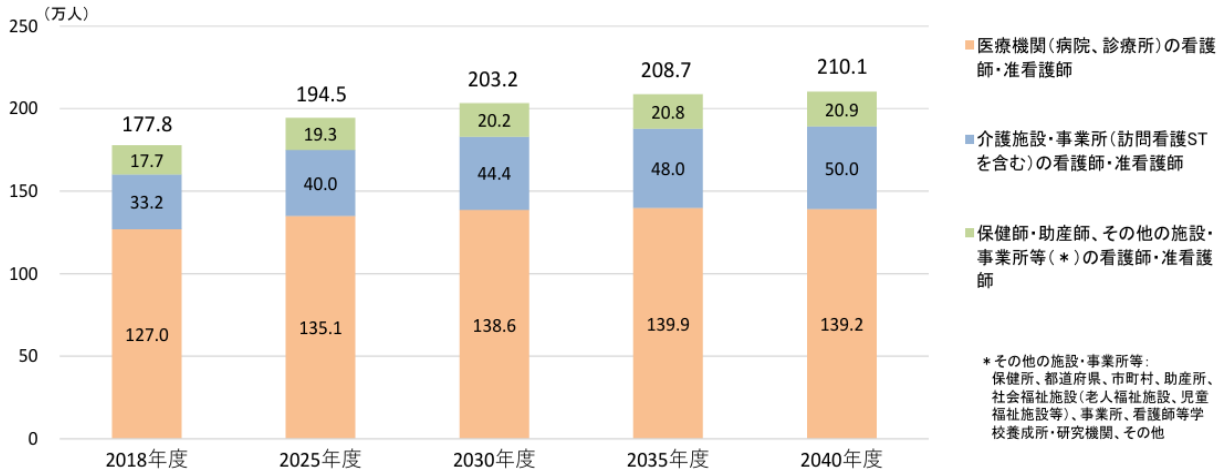
- 2040 年に向けた看護職員の需給推計については今後、国で検討される方向であるが、2018 年当時の需要推計方法では 210.1 万人と推計されている（図 38）。生産年齢人口が減少する社会において、

2023年の174.6万人との差は大きく、さらに直近3年間では看護職員就業者数の伸びが鈍化している状況にあるため、人材確保は相当厳しくなると考えられる。

（参考）『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーのシミュレーション』（2018年5月21日厚生労働省）の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需要推計

『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーのシミュレーション』（2018年5月）の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需要推計を行うと、訪問看護を含む介護分野での需要の増大等に伴って、2040年に向けて、看護職員の需要が増大するものと推計される。

※「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」（2019年11月15日）における需要推計とは、足下の就業者数や推計方法等が異なるため、推計結果が異なる。



【推計方法】

○「医療機関(病院、診療所)の看護師・准看護師」については、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「医療推計バックデータの現状投影ベース(注)を用いて推計。
 ○「介護施設・事業所(訪問看護STを含む)の看護師・准看護師」については、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「介護推計バックデータの現状投影ベース(注)を用いて推計。
 ○「保健師・助産師、その他の施設・事業所等の看護師・准看護師」は、2017年(平成29年)医療施設調査(静態)及び2020年(令和2年)医療施設調査(静態)の実績値を用いて、①2018年の病院・診療所の保健師・助産師数の推計値を算出し、2018年度(平成30年度)衛生行政報告例から、②2018年のその他の施設・事業所等の保健師・助産師・看護師・准看護師の実績値を算出し、①・②の合計値を2018年度の人数(足下)とした上で、『医療機関及び介護施設・事業所の看護師・准看護師の総合計』の対2018年度伸び率』に応じて増加するものとして推計(「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「バックデータ全体まとめ」で示された「その他の福祉分野」の推計方法に準拠)。
 (注)現状投影ベース：医療・介護サービスの足元の年齢階級別の受療率等(入院・外来の受療率、サービスごとの利用率)を基に機械的に将来の患者数や利用者数を計算し、この将来の患者数や利用者数に、足下における一定の患者数・利用者数当たりの看護師数及び准看護師数を乗ずることによって算出。

出典：第2回(令和5年7月7日)看護師等確保基本指針検討部会 参考資料2

図表 38. 看護職員の需要推計

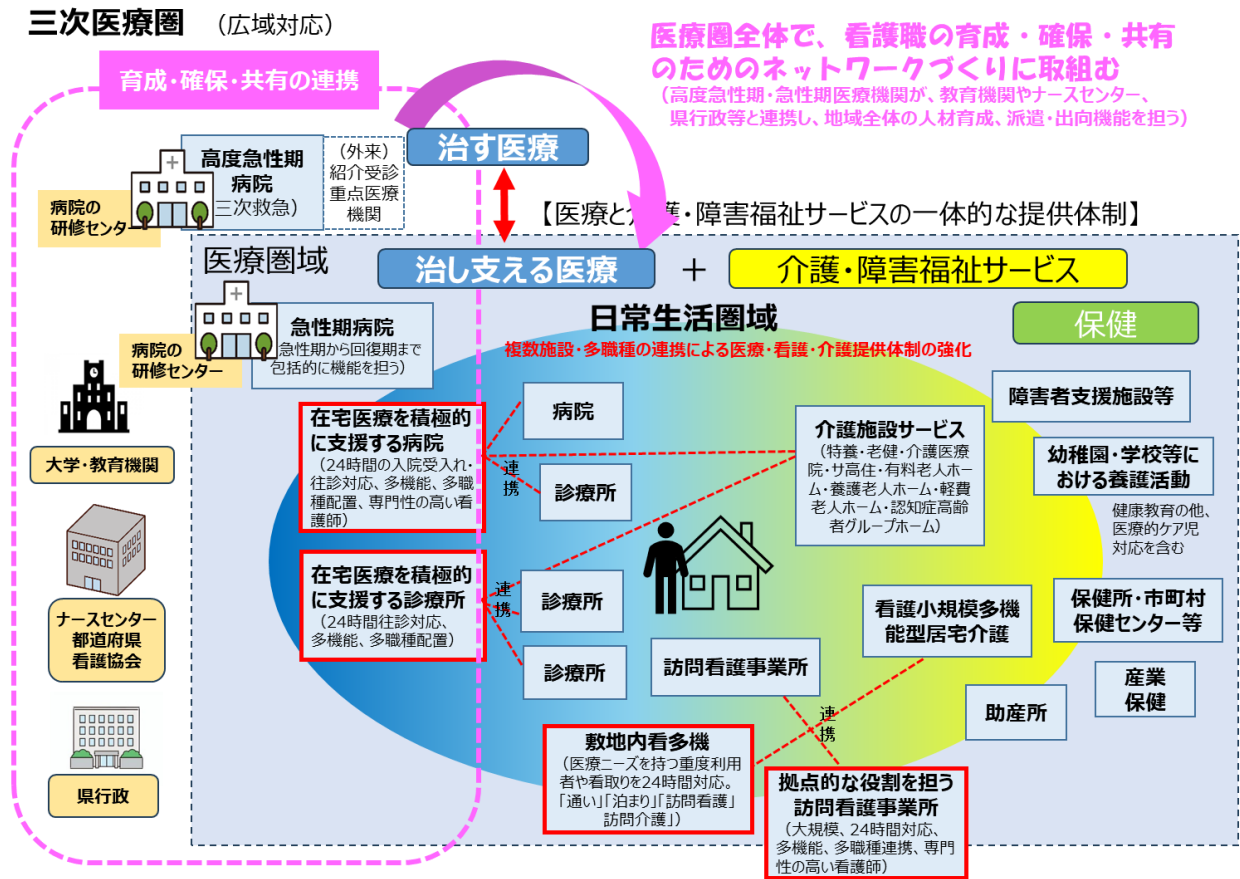
- 看護職の確保に向けては、養成数の視点と、定着・離職の視点で考える必要がある。先に述べた通り、看護職員就業者数は年々増加しているが、年齢構成を鑑みると、就業年数の延長による増加と解釈される。少子化の中、現在の看護職養成数を維持するならば、2040年には18歳人口の12人に1人が看護職を選択する必要があるが、それを前提とすることは難しい。すでに看護師養成課程の定員充足率が100%を切っている(図表 39)。労働人口の急減を迎えても、複雑な背景をもつ多くの患者、療養者のニーズに対応するためには、看護職一人ひとりの能力を大幅に高めることが必須である。DXの発展によって補える部分があったとしても、対面で行う直接ケアが看護の本質を占めるものであることに変わりはない。

- 看護職員の確保・定着には、多様で柔軟な働き方への転換と処遇改善が求められる。看護は 24 時間 365 日、患者の生命と健康を守る仕事であり、特に病院では夜勤交代制勤務が不可欠である。夜勤交代制勤務の負担軽減は喫緊の課題であり、日本看護協会の「2024 年度 病院看護実態調査」では、一般病棟に勤務する看護職員のうち、1 か月間で夜勤時間 0 時間の夜勤者率は 6.4%、1 時間から 16 時間未満の夜勤者率は 8.8%であることが明らかとなった。夜勤時間 0 時間の夜勤者率はいずれの病床規模でも同程度であり、夜勤が難しい理由としては子どもの世話が 7 割を超えていた。夜勤者の確保策として直近 3 年以内に実施したものとしては（2,035 病院）、夜勤専従の導入が 45.1%、多様な夜勤の導入（回数・時間・曜日）が 37.2%であった。さまざまなライフイベントがある中で、看護職のキャリアの中断を避け、看護提供体制を確保するためには、それぞれの働き方のニーズに対応可能な、多様かつ柔軟に働ける環境の整備が求められる。専門性の高い看護師が複数施設と個別契約をして力を発揮する等、働く人が主体的に時間や場を選択する雇用のあり方も、今後取り入れていくことが重要になる。また、多様で柔軟な働き方を可能とするためにはシフトの空白を埋める工夫も必要であり、ナースセンターに登録している看護職の派遣も含めた多様で柔軟な雇用形態の導入も検討していく。看護職として社会で力を活かし続けるために、一人ひとりの看護職、そして雇用・管理する側もこれまでの既成概念から離れ、新しい雇用形態へと意識を変革していくことが重要になる。
- キャリア継続の大きなインセンティブの一つが看護職の専門性と職務内容に見合った処遇である。給与等、処遇要因での他産業への流出を防ぐためにも、すべての職場における看護職の役割と能力に応じた、キャリアアップに伴う処遇改善を推進することが必要である。医療機関等は公定価格で運営されており、賃金引上げを行いたくても、価格に転嫁することができない。処遇改善ができず、さらなる人材確保困難が生じれば国民への医療提供に支障をきたす。質の高い医療を安定的に確保するために処遇改善への取り組みは必須である。
- 2040 年に向けて、限られた人数で質の高い看護提供体制を確保するためには、多職種との協働を進めながら、看護職一人ひとりが人間の生命と尊厳及び権利を尊重する高い倫理観を持ち、看護実践能力を向上させ、自律した看護を展開することが欠かせない。その実現のためには、基礎教育、新人教育、生涯学習の各段階を通じて、シームレスに看護師を育成する体制の整備が求められる。その際、施設単位での看護職員の育成・確保という考え方から脱却し、地域単位で看護職を育成し、人材を共有する考え方への

転換が極めて重要になる。地域包括ケアシステムを実効性高く展開していくためには、病床や医療機関機能の明確化・連携と、それに伴う看護機能の強化、看護の質向上に向けた取り組みが必要であり、人材育成はその要になる。

- 小規模な病院や訪問看護事業所等では自施設内での人材育成・教育体制の構築が厳しいこともあり、高度急性期・急性期医療機関が、教育機関やナースセンター、県行政等と連携し、地域全体の人材育成や出向機能を担うことも有用と考える（図表 41）。現在、国においては特定機能病院のあり方に関する検討を進めており、大学附属病院本院では地域における高度な医療提供や地域医療を支える観点から、地域の医師や医療専門職への教育・研修の実施や医師派遣機能を担うことが議論されている²⁶⁾。特定機能病院には、2024年9月時点で専門看護師の23.0%、認定看護師A課程の10.5%、B課程の11.9%、認定看護管理者の7.7%が所属しており、また、特定行為研修指定研修機関であることから、共同研修会の企画・実施やコンサルテーション機能を担う等、地域における人材育成の拠点となることや専門性の高い看護師による他施設の支援や出向機能を担うことが期待される。なお、ここでいう人材育成、出向機能とは、地域で必要な人材を一施設で一括して雇用・育成し、他医療機関へ出向することを意味するものではない。例えば、国が推進している助産師活用推進事業は、在籍型出向として、出向元施設と出向先施設を調整しながら、毎年25程度の都道府県で実施されている。日本看護協会では、病院と訪問看護ステーション間での訪問看護出向を提案し、訪問看護出向事業ガイドラインを公表してきた²⁷⁾。地域医療連携推進法人においても看護師出向の取り組みが行われ、職員のスキルアップはもとより、施設間での連携強化や機能分化につながっていると報告されている²⁸⁾。近年、「治す医療」と「治し支える医療」機関や訪問看護事業所との間での教育研修や出向等、地域全体での取り組みが各地で始まっており、日本看護協会の「2024年度 病院看護実態調査」では、全国1,165病院で専門性の高い看護師が地域の他施設等への支援を実施していた。効率的なマッチングと地域全体をカバーしていく視点をもった支援調整を行うために、都道府県看護協会・ナースセンターが調整機能を担っている事例も増えている。また、病院所属の専門性の高い看護師（1,020人）に情報収集を実施した結果、地域で活動を展開するために必要なこととして、「組織の理解」はもとより、「地域全体で相互支援や役割分担に関する協議ができていること」、「地域の他施設に対して支援することが、病院機能の一つとされていること」が6割を超えて挙げられており、地域の医療提供体制全体の中で、それぞれの施設の機能・役割を明確に整理しながら、より柔軟な体制を構築する必要があると考える。

地域全体での看護職育成・確保、共有のイメージ



図表 41. 地域全体での看護職育成・確保、共有のイメージ

- 限られた人材のもとで看護提供体制を構築するためには、ICT の活用による業務効率化、看護 DX の推進、多様で柔軟な働き方の推進、領域別・地域別の看護職偏在に対する対策の検討など、様々な方策について、医療地域全体で取り組むことが重要である。都道府県行政、都道府県看護協会、医療機関や訪問看護事業所、介護保険施設等が共通の課題認識を持ち、それぞれの役割・機能を発揮しながら協働し、取り組むことが求められる。
- 多くの関係者や多職種と連携しながら、質の高い看護提供体制を構築する上で、地域や組織における資源の管理、人材育成等、看護管理者の役割は大きい。認定看護管理者の一層の養成と活躍の推進が重要になる。今後は特に、機能強化型の訪問看護事業所や医療ニーズの高い利用者に対応する看多機、入居施設等における認定看護管理者の活躍が期待される。また、病院においても、タスクシフト・シェア等の推進や地域との連携を強化した入退院支援等を通じ、質の高い看護を提供する上で、認定看護管理者の配置やマネジメントの視点がより一層重要になる。

看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針

はじめに

保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護師等」という。）は、療養上の世話又は診療の補助、保健指導、助産等の実施を通じて、国民の保健医療の向上に大きく貢献してきている。

その看護師等は、就業者数を見ると、令和 2 年（2020 年）で約 173.4 万人と我が国医療関係職種の中で最も多数を占めており、チーム医療の中において、大きな役割を果たしてきているが、高齢化の進行に伴う看護ニーズの増大を受け、需要の増大が見込まれる。一方、我が国においては、少子高齢化が進行しており、令和 22 年（2040 年）に向けて、生産年齢人口（15 歳から 64 歳までの人口をいう。以下同じ。）が急減していく。

このように、現役世代（担い手）が急減する中で、増大し、多様化する看護ニーズや 24 時間体制の勤務に対応していくためには、新規養成、復職支援及び定着促進を柱に、看護師等の確保を推進していくとともに、生涯にわたって看護師等の業務を継続できるよう、看護師等個人の資質の向上を図っていくことが重要となる。

また、看護師等に係る需給の状況については、都道府県及び二次医療圏ごとに不足又は充足の状況が異なっていると同時に、訪問看護に従事する看護師等の需要が増大しているなど、地域・領域別に差異がある。このため、地域・領域の課題に応じた看護師等の確保対策を講じていくことが必要である。

あわせて、令和 2 年（2020 年）に発生した新型コロナウイルス感染症への対応に際しては、重症患者の診療に当たって、専門性の高い看護師を確保する必要性が特に高くなるとともに、感染症に的確に対応できる看護師等を迅速に応援派遣することが必要になった。今後の新興感染症（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号。以下「感染症法」という。）第 6 条第 7 項に規定する新型インフルエンザ等感染症、同条第 8 項に規定する指定感染症及び同条第 9 項に規定する新感染症をいう。以下同じ。）等の発生に備えて、専門性の高い看護師の養成を推進するとともに、新興感染症等の発生に的確に対応できる看護師等の迅速な確保を図るための体制整備を推進することが必要となる。

これらの課題に対応し、求められるニーズに対応できる看護師等の確保を進めるためには、中長期的視点に立って、養成、処遇の改善、資質の向上、就業の促進等について、関係者が一体となり総合的に進めることが必要である。

この指針は、国、地方公共団体、病院等（看護師等の人材確保の促進に関する法律（平成 4 年法律第 86 号。以下「法」という。）第 2 条第 2 項に規定する病院等※をいう。以下同じ。）、看護師等、そして国民がそれぞれの立場におい

て取り組むべき方向を示すことにより、少子高齢社会における保健医療を担う看護師等の確保を図り、国民に良質かつ適切な医療の提供を図ることを目的とするものである。

なお、看護ニーズの多様化に伴って、病院等以外で就業する看護師等が増加していることに鑑み、病院等以外の施設・事業所においても、看護師等の業務内容や支援策の状況等を踏まえつつ、病院等に準じた取組の実施が望まれる。

また、医療提供体制に係る見直しの状況等を踏まえて、必要に応じこの指針の見直しを行うものとする。

※ 法第2条第2項に規定する病院等とは、病院（医療法（昭和23年法律第205号）第1条の5第1項に規定する病院をいう。以下同じ。）、診療所（同条第2項に規定する診療所をいう。以下同じ。）、助産所（同法第2条第1項に規定する助産所をいう。）、介護老人保健施設（介護保険法（平成9年法律第123号）第8条第28項に規定する介護老人保健施設をいう。以下同じ。）、介護医療院（同条第29項に規定する介護医療院をいう。以下同じ。）、指定訪問看護事業所（指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第37号）第60条第1項に規定する指定訪問看護事業所をいう。以下同じ。）、指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所（指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第34号）第3条の4第1項に規定する指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所をいう。）、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所（同令第171条第1項に規定する指定看護小規模多機能型居宅介護事業所をいう。）及び指定介護予防訪問看護事業所（指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成18年厚生労働省令第35号）第63条第1項に規定する指定介護予防訪問看護事業所をいう。以下同じ。）をいう。

第一 看護師等の就業の動向に関する事項

一 看護師等の就業の現状

看護師等の就業者数は、平成2年（1990年）には約83.4万人であったが、法の施行後、看護師等の確保が進められ、増加を続け、令和2年（2020年）には約173.4万人となった。

令和2年（2020年）における看護師等の就業者数の資格別の内訳は、保健師が約6.7万人、助産師が約4.2万人、看護師が約132.0万人、准看護師が約30.5万人となっている。

看護師等の就業場所については、令和2年（2020年）においては、病院

が約 101.2 万人 (58.3%)、診療所が約 34.8 万人 (20.1%)、訪問看護ステーション (指定訪問看護事業所又は指定介護予防訪問看護事業所をいう。以下同じ。) が約 6.8 万人 (3.9%)、介護保険施設等 (介護老人保健施設、介護医療院、特別養護老人ホーム、居宅サービス事業所、居宅介護事業所等をいう。以下同じ。) が約 17.3 万人 (10.0%)、社会福祉施設等 (老人福祉施設、児童福祉施設等をいう。以下同じ。) が約 3.3 万人 (1.9%)、保健所、都道府県及び市区町村 (以下「保健所等」という。) が約 5.4 万人 (3.1%)、事業所が約 1.0 万人 (0.6%)、保健師助産師看護師法 (昭和 23 年法律第 203 号) 第 19 条第 1 号、同法第 20 条第 1 号、同法第 21 条第 2 号若しくは同法第 22 条第 1 号の規定に基づき文部科学大臣が指定する学校、同法第 21 条第 1 号の規定に基づき文部科学大臣が指定する大学又は同法第 19 条第 2 号、同法第 20 条第 2 号若しくは同法第 21 条第 3 号の規定に基づき都道府県知事が指定する保健師養成所、助産師養成所若しくは看護師養成所若しくは同法第 22 条第 2 号の規定に基づき都道府県知事が指定する准看護師養成所 (以下「看護師等学校養成所」という。) 及び研究機関が約 2.0 万人 (1.2%)、その他が約 1.3 万人 (0.7%) となっている。就業場所別の看護師等の推移を見ると、訪問看護ステーション、介護保険施設等及び社会福祉施設等での就業者の増加割合が高くなっている。

また、資格別の就業場所では、保健師は保健所等での就業割合が高い (60.1%)、助産師は病院での就業割合が高い (60.0%)、看護師は病院での就業割合が比較的高い (66.2%)、准看護師は診療所及び介護保険施設等での就業割合が高い (診療所は 35.6%、介護保険施設等は 23.1%) といった特徴がある。

看護師等の就業者の年齢階級別構成割合の推移を見ると、若年層の割合が減少し、60 歳以上の構成割合が増加しており、令和 2 年 (2020 年) においては、就業者のうちの 5.0% が 65 歳以上、6.8% が 60~64 歳となっている。年齢階級別の看護師等の就業者の就業場所については、年齢階級が低くなるほど病院で就業する割合が高く、年齢階級が高いほど介護保険施設等で就業する割合が高くなっている。

看護師等の就業者の性別構成割合の推移を見ると、男性の看護師等の構成割合が増加しており、令和 2 年 (2020 年) においては、就業者のうちの 7.6% が男性となっている。

令和 2 年 (2020 年) における都道府県別の人口 10 万人当たりの看護師等の就業者数については、首都圏等の都市部において、全国平均よりも少ない傾向にある。

二 今後の就業傾向

「医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ」（令和元年（2019年）11月15日とりまとめ）における令和7年（2025年）の看護師等の需給推計（以下「2025年需給推計」という。）によれば、令和7年（2025年）における都道府県報告に基づく看護師等の需要数の推計値は約180.2万人とされており、令和2年（2020年）の看護師等の就業者数（約173.4万人）よりも増大が必要となっている。また、令和4年度（2022年度）における看護師及び准看護師の有効求人倍率は2.20倍で、職業計の1.19倍よりも高くなっており、看護師等について不足傾向にあると言える。

あわせて、2025年需給推計とは足下の就業者数や推計方法等が異なる推計となるが、「「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーのシミュレーション」（平成30年（2018年）5月21日厚生労働省）の「現状投影ベース」等に基づく看護師等の需要推計（以下「2040年現状投影需要推計」という。）を行うと、看護師等の需要数は、令和7年度（2025年度）から令和22年度（2040年度）に向けて増加していくものと推計される。

一方、総務省統計局「国勢調査」（令和2年）及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）出生中位（死亡中位）推計」によれば、生産年齢人口は、令和2年（2020年）の7,509万人から令和22年（2040年）の6,213万人へと急激に減少するものと推計されている。

このように、少子高齢化の進行によって、令和22年（2040年）に向けて、生産年齢人口が急減していく中で、看護師等の確保を推進していくことが必要となっている。

地域別の状況については、2025年需給推計においては、都道府県別で見た場合、都市部等では依然として都道府県全体として令和7年（2025年）の看護師等の需要数とその供給数を上回り、看護師等の不足傾向が見込まれる一方で、一部の都道府県においては、令和7年（2025年）の看護師等の供給数よりその需要数が少なくなるものと推計されている。その一方で、都道府県全体としては看護師等の就業者数の総数が充足されると推計された都道府県においても、看護師等の就業者数の総数が不足傾向にある二次医療圏がある、多くの二次医療圏において訪問看護・介護保険サービス等は不足傾向にあるなど、看護師等の需給の状況は、二次医療圏ごとに差異がある。

領域別の状況については、2025年需給推計においては、病院及び診療所の需要の増大は小幅なものとされている一方で、地域包括ケアシステム（地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（平成元

年法律第 64 号) 第 2 条第 1 項に規定する地域包括ケアシステムをいう。) の構築に向けたサービスの整備が進められる中で、訪問看護に従事する看護師等の需要は大きく増大すると推計されている。令和 3 年度 (2021 年度) の都道府県ナースセンターにおける領域別の看護師等の求人倍率を比較すると、訪問看護ステーションの求人倍率が最も高くなっており、訪問看護については、看護師等の確保の必要性が高い一方で、看護師等の確保が難しい状況となっている。

このように、看護師等の需給の状況は、地域別・領域別に差異がある状況となっており、地域・領域ごとの課題に応じた看護師等の確保対策を講じていくことが重要になっている。

なお、今後、令和 22 年 (2040 年) 頃を視野に入れた新たな地域医療構想を踏まえて、地域別・領域別も含めた、新たな看護師等の需給推計を実施することが重要である。また、こうした新たな看護師等の需給推計については、今後の医療計画 (医療法第 30 条の 4 第 1 項に規定する医療計画をいう。以下同じ。) の作成等に活用できるよう実施することが重要である。

第二 看護師等の養成に関する事項

一 看護師等の養成の現状

(一) 養成制度・教育課程の現状

我が国の看護師等の資格制度は、保健師、助産師、看護師及び准看護師の各資格からなり、看護基礎教育は大学、養成所等で行われている。

教育の課程は、保健師、助産師、看護師 (三年課程、二年課程) 及び准看護師の各課程からなり、これらは全日制、定時制など多様な形態で構成されるとともに、保健師及び助産師の養成においては、大学院で実施されている場合も増えており、看護基礎教育の場も広がりを見せている。なお、18 歳人口の減少及び大学進学率の上昇等により、養成所での定員充足率は低下する傾向にある。

教育内容については、昭和 23 年 (1948 年) に制定された保健師助産師看護師法に基づく保健師助産師看護師学校養成所指定規則 (昭和 26 年文部省・厚生省令第 1 号。以下「指定規則」という。) により規定されているが、少子高齢化、人口構造及び疾病構造の変化、医学・医療の高度化・専門化、療養の場の変化など看護教育を取り巻く環境の変化と看護師等に対する国民のニーズに対応して、これまでに数次にわたり各職種に関し、指定規則等の改正が行われている。

具体的には、平成 8 年 (1996 年) の指定規則改正では、在宅医療や精神保健等、国民のニーズの拡大に対応するため、「在宅看護論」及び

競合校の志願状況

【資料3】

大学	学部	学科	住所	入学定員 2025年度	一般選抜の募集定員・志願者数・受験者数・合格者数・合格倍率														
					2023年度					2024年度					2025年度				
					募集 定員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率	募集 定員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率	募集 定員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率
名古屋学芸大学	看護学部	看護学科	愛知県名古屋市中区	100	27	934	867	87	10.0	27	676	624	79	7.9	30	686	616	89	6.9
椙山女学園大学	看護学部	看護学科	愛知県名古屋市千種区	110	14	542	494	83	6.0	36	353	339	125	2.7	36	518	504	134	3.8
名古屋英大学	健康科学部	看護学科	愛知県名古屋市瑞穂区	120	40	227	221	100	2.2	30	215	207	126	1.6	30	302	286	91	3.1

※全て一般選抜

【資料4】

岐阜保健大学

名古屋看護学部 看護学科（仮称）

設置構想についての高校生アンケート調査

報告書

1. 高校生アンケート調査概要

調査目的	令和9年（2027年）度に岐阜保健大学（2027年度に日本保健大学（仮称）に名称変更予定・本報告書においては以下、岐阜保健大学）が設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」（入学定員80名）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和9年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和7年度） [調査地域] 「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」の主たる学生募集エリアと想定される地域の高等学校40校から調査の協力を得た。また、オープンキャンパス及び入試説明会に来場した学生には個別で調査の協力を得た。
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・回答者の基本情報（居住地、性別）・卒業後の志望進路・志望する大学等の設置者・興味のある学問分野・岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」への受験・入学意向
調査時期	令和7年8月～12月
調査方法	① 高校での実施依頼分については、アンケート協力校に対し、アンケート用紙・「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」概要資料を必要部数送付し、ホームルーム等で配付の上、その場で回答した。 ② オープンキャンパス実施分については、来場者に対し、個別にアンケート用紙・「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」概要資料を配布し、その場で回答した。 ※なお、両調査は、既回答者による再回答を防止するための周知および調査用紙への明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。
調査件数	有効回答数5,146件（計40校およびオープンキャンパス実施分含む）

2.調査実施高等学校等一覧

※有効回答数5,146件の調査実施高等学校等内訳。

※高校コード順に記載。

番号	高校コード	所在地	高校名	回収数
1	16107B	富山県	滑川高等学校	68
2	16131E	富山県	新湊高等学校	139
3	20166K	長野県	蘇南高等学校	1
4	20517G	長野県	伊那西高等学校	122
5	21101A	岐阜県	岐阜高等学校	115
6	21115A	岐阜県	山県高等学校	50
7	21125H	岐阜県	大垣桜高等学校	186
8	21152E	岐阜県	中津高等学校	146
9	21156H	岐阜県	坂下高等学校	41
10	21177A	岐阜県	大垣西高等学校	62
11	21183E	岐阜県	岐阜総合学園高等学校	230
12	21187H	岐阜県	関有知高等学校	125
13	21502D	岐阜県	富田高等学校	254
14	21504A	岐阜県	岐阜東高等学校	60
15	21507E	岐阜県	岐阜女子高等学校	81
16	21515F	岐阜県	高山西高等学校	64
17	22200D	静岡県	浜松湖南高等学校	84
18	22523B	静岡県	静岡北高等学校	299
19	23105D	愛知県	惟信高等学校	35
20	23135F	愛知県	尾北高等学校	37
21	23137B	愛知県	小牧高等学校	33
22	23147K	愛知県	木曾川高等学校	219
23	23153D	愛知県	愛知県立津島北翔高等学校	113
24	23160G	愛知県	桃陵高等学校	30
25	23197F	愛知県	豊田東高等学校	213
26	23226C	愛知県	天白高等学校	72
27	23236A	愛知県	西陵高等学校	115
28	23249B	愛知県	犬山総合高等学校	127
29	23266B	愛知県	大府東高等学校	222
30	23282D	愛知県	知多翔洋高等学校	26

番号	高校コード	所在地	高校名	回収数
31	23506H	愛知県	名古屋大谷高等学校	45
32	23517C	愛知県	東邦高等学校	66
33	23520C	愛知県	名古屋工業高等学校	65
34	23527A	愛知県	愛知みずほ大学瑞穂高等学校	380
35	23537H	愛知県	清林館高等学校	394
36	23542D	愛知県	岡崎城西高等学校	69
37	23551C	愛知県	誉高等学校	115
38	24104A	三重県	いなべ総合学園高等学校	36
39	24515B	三重県	津田学園高等学校	205
40	25510G	滋賀県	彦根総合高等学校	184
41	-	-	オープンキャンパス	218
合計				5,146

3. 高校生アンケート調査 集計結果

※「回答割合」 (%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
愛知県	2,413	46.9%
岐阜県	1,577	30.6%
三重県	259	5.0%
静岡県	390	7.6%
無回答(上記4県以外)	507	9.9%
合計	5,146	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
男性	2,083	40.5%
女性	2,919	56.7%
回答しない	105	2.0%
無回答	39	0.8%
合計	5,146	100.0%

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
①大学	3,265	63.4%
②短期大学	385	7.5%
③専門職大学	180	3.5%
④専門職短期大学	44	0.9%
⑤専門学校	1,280	24.9%
⑥就職	830	16.1%
⑦その他	125	2.4%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合=各回答数÷全回答者数で算出。

問4 問3で①～④を選択した方に質問です。(※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
国立	951	26.7%
公立	1,148	32.2%
私立	2,700	75.7%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

※問4の回答割合は問3で「①大学」「②短期大学」「③専門職大学」「④専門職短期大学」のいずれかまたは複数を選択した3,566名(実人数)を全回答者数として算出。

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。(あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
看護学	747	14.5%
医学	210	4.1%
歯学	103	2.0%
薬学	132	2.6%
保健その他	513	10.0%
理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)	286	5.6%
工学(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)	620	12.0%
農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)	190	3.7%
人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)	533	10.4%
社会科学(法学・政治学、商学・経済学、社会学など)	807	15.7%
商船(商船学)	23	0.4%
家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	399	7.8%
教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育、体育学など)	786	15.3%
芸術(美術、デザイン、音楽など)	679	13.2%
その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)	794	15.4%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問6 設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①第一志望として受験する	223	4.3%
②第二志望として受験する	50	1.0%
③第三志望以降として受験する	147	2.9%
④受験しない	4,596	89.3%
無回答	130	2.5%
合計	5,146	100.0%

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	226	53.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	164	39.0%
入学しない	24	5.7%
無回答	6	1.4%
合計	420	100.0%

※問7の回答割合は問6で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した420名（実人数）を全回答者数として算出。

問8 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」では看護師以外に、選択制で保健師の受験資格も取得可能とする予定です。あなたは保健師の資格取得を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
保健師資格取得を希望する	66	15.7%
保健師資格取得を検討したい	215	51.2%
保健師資格取得は希望しない	132	31.4%
無回答	7	1.7%
合計	420	100.0%

※問8の回答割合は問6で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した420名（実人数）を全回答者数として算出。

4. 高校生アンケート調査結果の要点

(1) 受験・入学意向クロス集計結果（「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、岐阜保健大学が設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した者は420名で、予定する入学定員計80名の5.3倍となった。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	223	入学する	210
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	4
		入学しない・無回答	9
第二志望として受験する	50	入学する	8
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	40
		入学しない・無回答	2
第三志望以降として受験する	147	入学する	8
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	120
		入学しない・無回答	19
合計	420		

(2) 受験・入学意向五重クロス集計結果（「3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「看護学」を選択した上で、岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
 「大学」進学かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「看護学」を選択した者は合計479名で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは191名、「第二志望として受験する」29名、「第三志望以降として受験する」58名と合計すると278名であった。
 なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した者は188名であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した者は合計で75名確認された。

進路		設置者		学問分野		受験意向		入学意向	
大学	3,265	私立	2,475	看護学	479	第一志望として受験する	191	入学する	188
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2
								入学しない・無回答	1
						第二志望として受験する	29	入学する	2
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	26
								入学しない・無回答	1
						第三志望以降として受験する	58	入学する	5
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	49
								入学しない・無回答	4

高校生アンケート調査用紙

複製（コピー）使用禁止

岐阜保健大学（2027年度に日本保健大学（仮称）に名称変更予定） 「名古屋看護学部看護学科（仮称）」設置構想についての 高校生アンケート（対象:高校2年生の皆さん）

岐阜保健大学（2027年度に日本保健大学（仮称）に名称変更予定）では令和9（2027）年4月、「名古屋看護学部看護学科（仮称）」を設置構想中です。概要資料をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケートへの回答は1回のみとなります。同一内容のアンケートに過去に回答した方は回答できません。

※本アンケートは岐阜保健大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよび概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は所定の欄を塗りつぶしてください。	記入例	良い例	<input checked="" type="radio"/>
	2. 回答用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。		悪い例	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3. 記入は必ず鉛筆及びシャープペンシルで濃く書いてください。			

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- ① 愛知県 ② 岐阜県 ③ 三重県 ④ 静岡県

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

- ① 大学 ② 短期大学 ③ 専門職大学 ④ 専門職短期大学
⑤ 専門学校 ⑥ 就職 ⑦ その他

▶問4 問3で①～④を選択した方に質問です。（※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

- ① 国立 ② 公立 ③ 私立

→裏面に続く

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
 (あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

保健分野	① 看護学	② 医学	③ 歯学	④ 薬学	⑤ 保健その他
その他の分野 (保健以外)	⑥ 理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)				
	⑦ 工学(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)				
	⑧ 農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)				
	⑨ 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)				
	⑩ 社会科学(法学・政治学、商学・経済学、社会学など)				
	⑪ 商船(商船学)				
	⑫ 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)				
	⑬ 教育(教育学、教職課程〔幼稚園、小学校、中学校、高校教員〕、保育、体育学など)				
	⑭ 芸術(美術、デザイン、音楽など)				
	⑮ その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)				

ここからは別紙の岐阜保健大学(2027年度に日本保健大学(仮称)に名称変更予定)が設置構想中の「名古屋看護学部看護学科(仮称)」の概要資料を見てからお答えください。

問6 設置構想中の「名古屋看護学部看護学科(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

- ① 第一志望として受験する ② 第二志望として受験する
 ③ 第三志望以降として受験する ④ 受験しない

▶問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。
 設置構想中の「名古屋看護学部看護学科(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

- ① 入学する ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する ③ 入学しない

▶問8 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。
 設置構想中の「名古屋看護学部看護学科(仮称)」では看護師以外に、選択制で保健師の受験資格も取得可能とする予定です。
 あなたは保健師の資格取得を希望しますか。次より1つ選択してください。

- ① 保健師資格取得を希望する ② 保健師資格取得を検討したい ③ 保健師資格取得は希望しない

◆オープンキャンパスや進学説明会で配布された方のみお答えください。

あなたの学年をお答えください。

- ① 高校1年生 ② 高校2年生 ③ 高校3年生 ④ その他

岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」概要

2027年(令和9年)開設予定



岐阜保健大学

名古屋看護学部看護学科(仮称・設置構想中)

岐阜保健大学は2027年より日本保健大学(仮称)に大学名称を変更予定です。



Health Sciences



本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性があります。

地域包括ケアを推進できる専門性と人間性を高め、 これからの医療を担う看護職者へ

看護の基礎的知識と基本的な技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観、心豊かな人間性をもった看護実践能力のある看護職を育成します。



アドミッション・ポリシー

自主自学の精神に基づき、自律して学ぶ意欲を持つ人を受け入れます。

- 1 十分な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢と積極的に問題解決しようとする人
- 2 看護への強い関心を有し、社会貢献への意欲が高い人
- 3 豊かな感性を備え、他者と関係を育むことをいとわない人
- 4 看護を通じて国際的視野で活躍する志のある人

特色

- ◎看護職者として、専門的知識や技術はもとより、コミュニケーション能力や自ら考え問題解決する能力や行動力など社会人としての基礎的能力を育成するようにします。
- ◎教員による個別指導体制や少人数グループによるきめ細やかな学内外での学習指導体制をとって、学生個々の能力を伸ばすことを目的とした少人数教育を行います。
- ◎学内では、医療人育成センターを設置し、臨床現場をリアルに再現した環境において知識と技術を「統合する力」を培います。実際の病院などの環境と変わらない学習環境を備え、学生が質の高い学習をできるよう支援します。

身につける能力

社会に広く貢献するための幅広く深い教養、総合的な判断力及び誠実で豊かな人間性を涵養します。

人間の尊厳と権利を擁護する能力、高い倫理観を基盤としたヒューマンケアの態度を育成します。

科学的根拠に基づき、看護を計画的かつ安全に実践する能力を育成します。

個人や家族の健康レベルや生活、地域の特性と健康課題を査定し、より質の高い看護を実践できる能力を育成します。

ケア対象のあらゆる発達段階、健康状態、心理状態に対応して援助できる能力を育成します。

保健医療福祉チームとの関係性を密にし、連携・協働して社会的ニーズや状況に対応した看護を提供できる能力を育成します。

看護専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、将来にわたり自己研鑽を継続し、看護実践のための専門性を発展させる能力を育成します。

本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性があります。

学部・学科名称	名古屋看護学部 看護学科 (仮称・設置構想中)	入学定員	80名 (収容定員320名)
開設予定時期	2027年(令和9年)4月	修業年限	4年
開設予定場所	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目13-22	取得学位	学士(看護学)

カリキュラム



基本教育科目	思考力の養成	表現力の養成
	人間力の養成	人間の理解
専門教育関連科目	健康と健康障害の理解	社会と環境の理解
専門看護教育科目	基礎看護学	地域・在宅看護学
	精神看護学	成人・老年看護学
	母性看護学	小児看護学
	看護の統合	公衆衛生看護学
	看護研究	

4年間を通じたシミュレーション教育、ICT機器を備えた環境でのハイレベルな教育、名古屋市医師会との連携による高度な実践教育、そして少人数によるきめ細やかな教育を通じて、質の高い医療人の育成を目指します。

ディプロマ・ポリシー

4年間の学修を通して、看護が必要とされるあらゆる場で、どのような状況でも最善の看護を提供できるよう、次の能力を有すると認められる者に学位を授与します。

- ① 看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。
- ② 看護の対象者を全人的に理解し、看護の実践ができる。
- ③ 地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。
- ④ 豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。
- ⑤ 看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。
- ⑥ グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学力を身につけている。



卒業後の進路

看護師、保健師



取得可能資格

看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格



設置の 理念

未来の看護を担う人材育成を目指して
岐阜から名古屋へ。
いのちに寄り添う看護を学ぶ、新たな場所に。

昭和59年の法人設立以来、専門学校や短期大学で長年看護教育を行ってきた学校法人豊田学園は、平成31年(令和元年)設立の岐阜保健大学看護学部、令和3年からは大学院看護学研究科において、看護・医療教育に携わり、多くの看護・医療人材を地域社会に輩出してきました。

こうした教育実績を踏まえ、今日の医療の高度化による大学教育を受けた看護人材需要の高まりと、愛知県が抱える看護職不足の問題に 대응するため、令和9年に名古屋看護学部(仮称・設置構想中)を開設します。

本学部では、「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」の理念の下、看護の深い専門的な知識と技術を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけた、常に自己研鑽を継続できる高い資質と看護実践能力を持った看護職者を養成すること、またその養成を通じて広く地域と社会の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材を育成します。



看護が学べる周辺大学

名古屋学芸大学 看護学部看護学科 (名古屋市中区)
椋山女学園大学 看護学部看護学科 (名古屋市長種区)
名古屋葵大学 健康科学部看護学科 (名古屋市長穂区)

学生納付金

入学金	授業料等	初年度納入金
200,000円	1,500,000円	1,700,000円

※上記金額には入学金、授業料、教育充実費、演習・実習費を含みます。
※予定であり変更となる場合があります。

アクセス

名古屋キャンパス 〒604-8418 愛知県名古屋市港区千鳥1-13-22



名古屋市営地下鉄 名港線「築地口」駅下車 徒歩5分
(名古屋駅から築地口駅まで26分(栄駅乗り換え))



岐阜保健大学 〒500-8281 岐阜市東鶉2-92 Tel: 058-274-5001
<https://www.gifuhoken.ac.jp/>

本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性が
あります。
学生確保(資料) - 35 -

【資料5】

岐阜保健大学

名古屋看護学部 看護学科（仮称）

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

1.人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に岐阜保健大学（2027年度に日本保健大学（仮称）に名称変更予定・本報告書においては以下、岐阜保健大学）が設置構想中の「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」（入学定員80名）における卒業後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 中部地区3県の全ての病院および保健所 [業種] 病院、保健所 [調査地域] 愛知県、岐阜県、三重県 [依頼件数] 541件
調査内容	・回答対象先の基本情報（所在地・業種） ・回答対象先における看護師および保健師の充足状況 ・岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」を卒業した看護師および保健師の人材ニーズ ・岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」を卒業した看護師および保健師の採用意向
調査時期	令和7年9月～11月
調査方法	調査対象事業所に対しアンケート調査の依頼状を郵送しWEBフォームからのアンケート実施を依頼。
回収件数	有効回答数86件（回収率15.9%）

2.人材需要アンケート調査 集計結果

※「回答割合」 (%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴事業所の代表所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	回答数	回答割合
愛知県	53	61.6%
岐阜県	24	27.9%
三重県	9	10.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問2 貴事業所の業種についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	回答数	回答割合
病院	76	88.4%
診療所・クリニック	0	0.0%
訪問看護ステーション	0	0.0%
高齢者・介護福祉施設	0	0.0%
保健所・自治体	8	9.3%
地域連携支援センター等	0	0.0%
その他	2	2.3%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問3 貴事業所における「看護師」の充足状況をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	回答数	回答割合
不足している	33	38.4%
どちらかといえば不足している	30	34.9%
どちらかといえば充足している	8	9.3%
充足している	11	12.8%
わからない	0	0.0%
看護師は勤務していない	4	4.7%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問4 貴事業所における「保健師」の充足状況をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
不足している	3	3.5%
どちらかといえば不足している	10	11.6%
どちらかといえば充足している	9	10.5%
充足している	23	26.7%
わからない	0	0.0%
保健師は勤務していない	41	47.7%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問5 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部 看護学科（仮称）の養成する人材は、地域のおよび社会的ニーズが高いとおもわれますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
人材ニーズは高い	72	83.7%
どちらともいえない	11	12.8%
人材ニーズはあまり高くない	3	3.5%
人材ニーズは高くない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問6 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部 看護学科（仮称）の卒業生を「看護師」として、継続的に採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
①採用したい	57	66.3%
②採用しない	2	2.3%
③わからない	20	23.3%
④看護師の採用は行っていない	7	8.1%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問7 単年度で採用可能と思われる看護師の人数は何名ですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
1名	3	5.3%
2名	12	21.1%
3名	10	17.5%
4名	4	7.0%
6名以上	16	28.1%
人数は未確定だが最低1名	12	21.1%
無回答	0	0.0%
合計	57	100.0%

※問7の回答割合は問6で「採用したい」を選択した57事業所を全回答数として算出。

問8 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部 看護学科（仮称）では、保健師養成コースを計画しています。本学部の卒業生を「保健師」として継続的に採用したいと思われませんか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
①採用したい	8	9.3%
②採用しない	3	3.5%
③わからない	18	20.9%
④保健師の採用は行っていない	57	66.3%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問9 単年度で採用可能と思われる保健師の人数は何名ですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
1名	2	25.0%
2名	3	37.5%
3名	0	0.0%
4名	0	0.0%
6名以上	0	0.0%
人数は未確定だが最低1名	3	37.5%
無回答	0	0.0%
合計	8	100.0%

※問9の回答割合は問8で「採用したい」を選択した8事業所を全回答数として算出。

(自由回答) 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部 看護学科 (仮称) に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

番号	回答
1	上記の設問に「継続的」という言葉がなければ、採用したいが回答となります。包括ケアを前面に出される姿勢には大いに共感いたします。
2	地域の看護師不足問題解決の為に即戦力の看護師育成をよろしく願い申し上げます。
3	「保健師の採用は行っていない」とさせていただきますが、募集している時期もございます。(現在は募集しておりません。)
4	なにより名古屋市には多くの看護学部があり、人口減少が進む中、学生を集めることができるのか疑問です。
5	当院としては名古屋の看護学校や大学から就職される学生はほとんどありません。岐阜保健大学からの学生さんに病院を知っていただき、就職につなげられたらありがたいと考えてます。
6	看護師、保健師も含む職員採用については人事委員会において行っており、当所に対する質問6、8の回答としては「採用は行っていない」となります。
7	複数の病院に見学に行かせ、自分に合った病院に就職するよう教育して欲しいです。
8	地域の医療機関へ安定的に優秀な人材を輩出していただくことを期待しております。
9	現在の当院の人材で最も必要なのが看護師です。多くの人材を輩出していただくことを期待しております。
10	急性期のみならず、回復期、維持期医療に興味を持たれるような教育をお願いしたい。技術職であることは重々承知しています。新卒時は難しくともある程度を急性期でキャリアを積んだ後は純粋に維持期医療に興味を持っていただく色々な問題解決の一つになると思います。
11	病院は採用枠が少ない 保健師が全然足りなくて、何人でも欲しいです
12	貴校の卒業生の作用実績がないので何とも言えませんが、リーフレットで掲げられたとおりの人材輩出がされるのであれば、期待値は大きいです。 僻地ならではの看護実践の魅力を語る力が募集する側にも求められますが、医師や看護師の地域偏在の課題についても関心を寄せていただけると嬉しいです。
13	本事業者には採用権限がなく、中央で人事を行っているので何とも言えませんが、主体的に動ける、他者との関係づくりのできる人材を求めます。
14	保健師採用担当として回答させていただきます。
15	専門職業人である前に、社会人として自律した人材の育成を期待しています。
16	市内では看護師養成校の増員があいつぎ、定員数もかなり増えている状況です。臨床と教育の連携はもちろん必要ですが、臨床もギリギリの体制で施設基準をクリアしているところが多いです。臨地実習にあたっては、学生の教育効果が高まるように教員の配置をしっかりといただくことを切に期待いたします。 看護師充足の有無にかかわらず一定数の新卒看護師さんの採用は継続する予定です。組織として新卒看護師さんの卒後教育を含めた人材育成への社会貢献が必要と考えており、充足の有無にかかわらず一定数の新卒看護師さんの採用は継続する予定です。
17	毎年度保健師を採用していますが、採用選考試験に応募いただき、合格された方を採用しております。
18	地理的に当院から貴大学は距離があると思いますが、人材育成して頂き将来の看護職を多く輩出できることを期待します。
19	当院は貴校が設置される予定の場所からも地下鉄で1区間、自転車でも移動可能な場所にあります。岐阜の大学や専門学校を卒業した職員も多く、臨地実習の受け入れなどでもご協力できれば、私どももいたしましても就職のきっかけにもなり、有難いと考えております。また改めてご挨拶をさせていただきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
20	最近では病院採用された新人職員の離職も目につきます。 適材適所は当然なのですが、看護実習が病院が主であるように、まずは医療機関で一通りの看護技術や対応スキルを習得しておくことが必要と考えます。 テキストだけの内容でなく、臨床の厳しさや現実、やりがいなども教授していただけると幸いです。

3.人材需要アンケート調査結果の要点

採用意向集計結果（「2.人材需要アンケート調査 集計結果」より）

岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」として72事業所(83.7%)から回答があり、そのニーズの高さを認める結果となった。また、57事業所(66.3%)が採用意向を示し、その上での単年度の採用可能人数の合計は予定する入学定員80名の2.3倍となる181名であった。なお、岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」で養成する「保健師」の採用についての質問に対しては、8事業所(9.3%)が採用意向を示し、その上での単年度の採用可能人数の合計は11名であった。

問5 養成する人材の社会ニーズ

人材ニーズは高い	72事業所	83.7%
人材ニーズは高くない・あまり高くない	3事業所	3.5%
どちらともいえない・無回答	11事業所	12.8%
合計	86事業所	100.0%

問6 卒業生の採用意向（看護師）

採用したい	57事業所	66.3%
採用しない	2事業所	2.3%
わからない・看護師の採用は行っていない・無回答	27事業所	31.4%
合計	86事業所	100.0%

問8 卒業生の採用意向（保健師）

採用したい	8事業所	9.3%
採用しない	3事業所	3.5%
わからない・保健師の採用は行っていない・無回答	75事業所	87.2%
合計	86事業所	100.0%

問7 卒業生の採用可能人数（看護師）

看護師	1名	2名	3名	4名	6名以上	人数は未 確定だが 最低1名	無回答	合計
「採用し たい」の 回答数	3	12	10	4	16	12	0	57
採用可能 人数計 （回答数 ×採用可 能人数）	3名	24名	30名	16名	96名	12名	0名	181名

※「6名以上」は6名として計算した。

※「人数は未定だが、最低1名」は1名として計算した。

※採用可能人数へ無回答の場合は集計から除外した。

問9 卒業生の採用可能人数（保健師）

保健師	1名	2名	3名	4名	6名以上	人数は未 確定だが 最低1名	無回答	合計
「採用し たい」の 回答数	2	3	0	0	0	3	0	8
採用可能 人数計 （回答数 ×採用可 能人数）	2名	6名	0名	0名	0名	3名	0名	11名

※「6名以上」は6名として計算した。

※「人数は未定だが、最低1名」は1名として計算した。

※採用可能人数へ無回答の場合は集計から除外した。

人材需要アンケート調査WEB画面

岐阜保健大学

名古屋看護学部看護学科（仮称）

設置構想についての人材需要アンケート

岐阜保健大学では、令和9年（2027年）4月に「名古屋看護学部看護学科（仮称）」の開設を構想しています。リーフレット（設置計画案）をご覧の上、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

本アンケート調査を通じて得られた情報は、統計資料及び文部科学省への提出書類としてのみ活用し、他の用途に使用することはありません。

※このアンケート調査は岐阜保健大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

規約に同意する **必須**

本アンケートへの回答は一事業所につき一回のみとなります。

同意する

問1 貴事業所の代表所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

愛知県

岐阜県

三重県

その他

問2 貴事業所の業種についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク) **必須**

病院

診療所・クリニック

訪問看護ステーション

高齢者・介護福祉施設

保健所・自治体

地域連携支援センター等

その他

問3 貴事業所における「看護師」の充足状況をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク) **必須**

不足している

どちらかといえば不足している

どちらかといえば充足している

充足している

わからない

看護師は勤務していない

問4 貴事業所における「保健師」の充足状況をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク) **必須**

不足している

どちらかといえば不足している

どちらかといえば充足している

充足している

わからない

保健師は勤務していない

ここからは、岐阜保健大学名古屋看護学部看護学科（仮称）の概要（リーフレット）をご覧の上、ご回答ください。

問5 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部看護学科（仮称）の養成する人材は、地域的および社会的ニーズが高いとおもわれますか。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

人材ニーズは高い

どちらともいえない

人材ニーズはあまり高くない

人材ニーズは高くない

問6 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部看護学科（仮称）の卒業生を「看護師」として、継続的に採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

①採用したい

②採用しない

③わからない

④看護師の採用は行っていない

問7 単年度で採用可能と思われる看護師の人数は何名ですか。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

1名

2名

3名

4名

6名以上

人数は未確定だが最低1名

問8 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部看護学科（仮称）では、保健師養成コースを計画しています。本学部の卒業生を「保健師」として継続的に採用したいと思われますか（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

①採用したい

②採用しない

③わからない

④保健師の採用は行っていない

問9 単年度で採用可能と思われる保健師の人数は何名ですか。(あてはまるもの1つにマーク) **必須**

1名

2名

3名

4名

6名以上

人数は未確定だが最低1名

(自由回答) 岐阜保健大学が設置構想中の名古屋看護学部看護学科(仮称)に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

任意

※宜しければ貴院・貴所名をお教えてください。 **任意**

こちらは、どの事業所様にご返送いただいたかを把握するための質問であり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。

送信

岐阜保健大学「名古屋看護学部 看護学科（仮称）」概要

2027年(令和9年)開設予定



岐阜保健大学

名古屋看護学部看護学科(仮称・設置構想中)

岐阜保健大学は2027年より日本保健大学(仮称)に大学名称を変更予定です。



Health Sciences



本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性があります。

地域包括ケアを推進できる専門性と人間性を高め、 これからの医療を担う看護職者へ

看護の基礎的知識と基本的な技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観、心豊かな人間性をもった看護実践能力のある看護職を育成します。



アドミッション・ポリシー

自主自学の精神に基づき、自律して学ぶ意欲を持つ人を受け入れます。

1 十分な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢と積極的に問題解決しようとする人

2 看護への強い関心を有し、社会貢献への意欲が高い人

3 豊かな感性を備え、他者と関係を育むことをいとわない人

4 看護を通じて国際的視野で活躍する志のある人

特色

- ◎看護職者として、専門的知識や技術はもとより、コミュニケーション能力や自ら考え問題解決する能力や行動力など社会人としての基礎的能力を育成するようにします。
- ◎教員による個別指導体制や少人数グループによるきめ細やかな学内外での学習指導体制をとって、学生個々の能力を伸ばすことを目的とした少人数教育を行います。
- ◎学内では、医療人育成センターを設置し、臨床現場をリアルに再現した環境において知識と技術を「統合する力」を培います。実際の病院などの環境と変わらない学習環境を備え、学生が質の高い学習をできるよう支援します。

身につける能力

社会に広く貢献するための幅広く深い教養、総合的な判断力及び誠実で豊かな人間性を涵養します。

人間の尊厳と権利を擁護する能力、高い倫理観を基盤としたヒューマンケアの態度を育成します。

科学的根拠に基づき、看護を計画的かつ安全に実践する能力を育成します。

個人や家族の健康レベルや生活、地域の特性と健康課題を査定し、より質の高い看護を実践できる能力を育成します。

ケア対象のあらゆる発達段階、健康状態、心理状態に対応して援助できる能力を育成します。

保健医療福祉チームとの関係性を密にし、連携・協働して社会的ニーズや状況に対応した看護を提供できる能力を育成します。

看護専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、将来にわたり自己研鑽を継続し、看護実践のための専門性を発展させる能力を育成します。

本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性があります。

学部・学科名称	名古屋看護学部 看護学科 (仮称・設置構想中)	入学定員	80名 (収容定員320名)
開設予定時期	2027年(令和9年)4月	修業年限	4年
開設予定場所	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目13-22	取得学位	学士(看護学)

カリキュラム



基本教育科目	思考力の養成	表現力の養成
	人間力の養成	人間の理解
専門教育関連科目	健康と健康障害の理解	社会と環境の理解
専門看護教育科目	基礎看護学	地域・在宅看護学
	精神看護学	成人・老年看護学
	母性看護学	小児看護学
	看護の統合	公衆衛生看護学
	看護研究	

4年間を通じたシミュレーション教育、ICT機器を備えた環境でのハイレベルな教育、名古屋市医師会との連携による高度な実践教育、そして少人数によるきめ細やかな教育を通じて、質の高い医療人の育成を目指します。

ディプロマ・ポリシー

4年間の学修を通して、看護が必要とされるあらゆる場で、どのような状況でも最善の看護を提供できるよう、次の能力を有すると認められる者に学位を授与します。

- ① 看護学および関連する学問を基盤に、看護の現象をよく理解して概念化・理論化し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。
- ② 看護の対象者を全人的に理解し、看護の実践ができる。
- ③ 地域で暮らす人々の健康と生活を支える役割と責務を果たすことができる。
- ④ 豊かな人間性を育み、高い倫理観を持って、多様な背景を持つ人々と人間関係を形成できる。
- ⑤ 看護専門職の役割を認識し、多職種と協働できる。
- ⑥ グローバルヘルスの課題解決に取り組むことができる豊かな国際感覚や語学力を身につけている。



卒業後の進路

看護師、保健師



取得可能資格

看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格



設置の 理念

未来の看護を担う人材育成を目指して
岐阜から名古屋へ。
いのちに寄り添う看護を学ぶ、新たな場所に。

昭和59年の法人設立以来、専門学校や短期大学で長年看護教育を行ってきた学校法人豊田学園は、平成31年(令和元年)設立の岐阜保健大学看護学部、令和3年からは大学院看護学研究科において、看護・医療教育に携わり、多くの看護・医療人材を地域社会に輩出してきました。

こうした教育実績を踏まえ、今日の医療の高度化による大学教育を受けた看護人材需要の高まりと、愛知県が抱える看護職不足の問題に 대응するため、令和9年に名古屋看護学部(仮称・設置構想中)を開設します。

本学部では、「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」の理念の下、看護の深い専門的な知識と技術を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけた、常に自己研鑽を継続できる高い資質と看護実践能力を持った看護職者を養成すること、またその養成を通じて広く地域と社会の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材を育成します。



看護が学べる周辺大学

名古屋学芸大学 看護学部看護学科 (名古屋市中区)
椋山女学園大学 看護学部看護学科 (名古屋市長久区)
名古屋葵大学 健康科学部看護学科 (名古屋市長久区)

学生納付金

入学金	授業料等	初年度納入金
200,000円	1,500,000円	1,700,000円

※上記金額には入学金、授業料、教育充実費、演習・実習費を含みます。
※予定であり変更となる場合があります。

アクセス

名古屋キャンパス 〒604-8418 愛知県名古屋市港区千鳥1-13-22



名古屋市営地下鉄 名港線「築地口」駅下車 徒歩5分
(名古屋駅から築地口駅まで26分(栄駅乗り換え))



岐阜保健大学 〒500-8281 岐阜市東鶉2-92 Tel: 058-274-5001
<https://www.gifuhoken.ac.jp/>

本リーフレットの内容は全て設置構想中の計画であり変更の可能性があります。
学生確保(資料) - 53 -

<年齢別>求人・求職バランスシート

職 種	有効 求人数	求人 倍率	有効求 職者計	19歳 以下	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上
職業計	39,477	0.87	45,296	270	1,356	2,570	3,143	3,283	3,189	3,449	4,102	4,117	6,557	13,260
A管理的職業従事者	16	0.30	54	0	0	0	0	3	0	4	1	1	17	28
B専門的・技術的職業従事者	9,133	2.10	4,353	7	76	347	450	459	373	325	331	318	621	1,046
開発技術者	33	0.23	146	0	0	1	1	3	2	1	3	7	51	77
製造技術者	34	0.12	283	0	5	12	16	11	18	15	23	28	55	100
建築・土木技術者	51	0.48	107	0	0	4	2	1	3	1	4	2	14	76
情報処理・通信技術者	19	0.10	194	1	10	18	28	16	18	18	7	10	30	38
その他の技術者	15	0.47	32	0	0	0	0	0	5	0	1	1	8	17
医師・薬剤師等	158	1.50	105	0	0	1	10	14	10	4	2	10	10	44
看護師、保健師等	2,573	2.53	1,015	0	8	58	120	129	98	90	78	90	154	190
医療技術者(臨床検査・理学療法士等)	932	3.98	234	0	3	38	44	35	20	16	17	12	17	32
その他保健医療(栄養士・マッサン等)	433	2.30	188	0	2	27	32	26	19	18	10	9	16	29
社会福祉の専門的職業(保育士等)	2,383	2.27	1,052	1	20	106	100	112	95	86	101	94	151	186
美術家、デザイナー等	38	0.13	295	2	16	48	49	45	42	21	21	15	18	18
その他の専門的職業	2,464	3.51	702	3	12	34	48	67	43	55	64	40	97	239
C事務従事者	3,845	0.40	9,548	14	182	581	863	922	862	944	1,002	866	1,332	1,980
一般事務員	2,810	0.34	8,326	11	153	514	789	824	771	837	893	755	1,129	1,650
会計事務員	387	0.94	411	0	6	18	16	39	29	50	46	34	65	108
生産関連事務員	145	0.71	205	0	2	8	8	9	5	12	14	15	54	78
営業・販売関連事務員	292	1.30	225	0	1	9	18	18	17	22	21	24	28	67
外勤事務員	15	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸・郵便事務	93	2.11	44	0	0	1	1	0	1	1	2	6	8	24
事務用機器操作の職業	103	0.31	337	3	20	31	31	32	39	22	26	32	48	53
D販売従事者	2,451	1.49	1,645	15	60	96	112	100	98	125	188	166	237	448
商品販売の職業	2,257	1.57	1,439	14	57	92	110	93	89	114	176	154	198	342
営業の職業	159	0.92	173	1	3	4	2	5	6	5	10	11	31	95
Eサービス職業従事者	13,317	3.51	3,795	21	134	224	213	250	284	315	384	360	510	1,100
家庭生活支援サービス	95	7.92	12	0	0	0	2	0	0	4	2	1	2	1
介護サービスの職業	5,469	5.07	1,079	7	20	67	70	59	98	107	132	106	141	272
保健医療サービス	545	2.99	182	0	11	12	12	20	15	17	27	22	25	21
理・美容師、エステティシャン等	604	3.37	179	1	20	19	19	35	19	17	11	14	9	15
調理の職業	3,905	3.36	1,162	5	25	40	32	51	78	73	117	122	193	426
接客・給仕の職業	1,705	2.79	612	7	47	61	60	61	46	72	67	49	62	80
居住施設・ビルの管理	229	0.99	231	0	0	1	1	0	0	2	1	10	31	185
その他のサービス	765	2.26	338	1	11	24	17	24	28	23	27	36	47	100
F保安職業従事者	1,820	6.57	277	0	1	2	2	2	7	6	10	19	38	190
G農林漁業従事者	234	0.82	287	4	6	11	9	18	16	14	21	22	64	102
H生産工程従事者	1,793	0.79	2,263	18	78	138	188	187	206	173	221	212	296	546
金属材料製造等	172	0.76	227	1	6	3	4	9	8	8	18	25	33	112
製品製造・加工処理	937	1.60	586	3	18	42	43	43	41	41	70	70	71	144
機械組立の職業	176	0.26	676	10	39	41	68	61	71	65	69	47	90	115
機械整備・修理の職業	137	1.38	99	0	3	2	2	1	1	4	4	2	24	56
製品検査(金属)	66	0.47	140	0	2	16	13	10	12	17	15	14	17	24
製品検査(金属除く)	152	1.45	105	0	5	3	13	13	19	7	16	9	7	13
機械検査の職業	54	0.25	215	3	3	19	34	38	30	20	11	19	19	19
生産関連・生産類似	68	0.44	155	1	2	7	8	9	22	6	17	19	25	39
I輸送・機械運転従事者	1,914	2.24	854	0	1	2	10	8	15	20	29	69	150	550
自動車運転の職業	1,707	3.00	569	0	1	1	5	3	5	10	19	42	88	395
その他の輸送の職業	115	0.59	196	0	0	0	5	5	7	10	5	22	46	96
定置・建設機械運転	92	1.08	85	0	0	1	0	0	3	0	5	5	14	57
J建設・採掘従事者	160	1.23	130	1	0	1	6	1	3	4	9	6	18	81
建設躯体工事の職業	23	4.60	5	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2
建設の職業	52	0.90	58	1	0	0	4	0	2	1	5	2	4	39
電気工事の職業	21	0.62	34	0	0	0	2	0	1	2	1	2	6	20
土木の職業	63	1.91	33	0	0	1	0	0	0	1	3	0	8	20
K運搬・清掃・包装等従事者	4,794	0.51	9,486	80	313	405	484	541	575	735	916	1,033	1,411	2,993
運搬の職業(倉庫作業員、配達員等)	1,053	1.10	957	3	19	27	30	40	39	64	56	102	165	412
清掃の職業	2,385	1.63	1,460	11	46	37	56	45	74	80	127	140	199	645
包装の職業	194	0.63	310	5	9	13	14	27	23	19	40	33	44	83
その他の運搬等の職業	1,162	0.17	6,759	61	239	328	384	429	439	572	693	758	1,003	1,853
分類不能の職業	0	0.00	12,604	110	505	763	806	792	750	784	990	1,045	1,863	4,196
(IT関連計)	240	0.39	611	4	31	47	56	54	59	45	33	46	88	148
(福祉関連計)	9,901	3.99	2,481	7	36	147	225	223	239	231	260	230	348	535
(介護関連計)	6,777	4.96	1,365	7	27	74	87	80	129	132	177	134	183	335

※愛知労働局に申込まれた常用パート求人と常用パートを希望する求職者数それぞれの総計。
 (「常用パート」とは、「パートタイム」であって、雇用期間が「定めなし」または「定めあり(4カ月以上)」の就業形態をいう。)
 ※主要職種の抜粋のため、職業ごとの計と総計は一致しません。
 ※大分類については「日本標準職業分類」に基づいた表記となります。その他はわかりやすい職種名で表記しています。



生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

2024年度 「ナースセンター登録データに基づく看護職の 求職・求人・就職に関する分析」結果 求人倍率が10年ぶりの高水準

公益社団法人日本看護協会（会長・秋山智弥、会員73万人）は、看護職の求職・求人・就職に関する報告を目的として、2024年度の都道府県ナースセンターの登録データの集計・分析を行いました。

都道府県ナースセンターは、都道府県知事からの指定を受け、都道府県看護協会が運営しています。全国89カ所（うちサテライト・支所42カ所）のナースセンターを運営、看護職の無料職業紹介事業や潜在看護職の復職支援事業を実施しています。

日本看護協会では今回の集計・分析の概要として、2024年度の求人倍率、求人、求職者、就職者の状況、応募・就職の状況から、施設種別の状況を中心にニュースリリースとしてまとめました。すべての結果を収載した「2024（令和6）年度ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人・就職に関する分析報告書」は、ホームページ（<https://www.nurse-center.net/nccs/scontents/sm01/SM010801.html>）で全文をご覧いただけます。

報道関係者の皆さまには、このたびの報告の趣旨にご理解をいただき、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

主な結果

【求職者について】

- 求職者数は68,724人であった。2021年以降、全年代で減少傾向であるが、50歳以上では2020年度より高い水準であった。新型コロナウイルス感染症流行期の2020年度～2023年度を除くと2019年度までの単調増加傾向は維持されていた。（P.1_図1、P.4_図5）
- 希望する施設種類をみると、最も多いのは「診療所（無床）」であり、次いで「病院（20～199床）」、「健診センター・労働衛生機関」、「病院（200～499床）」、「会社・事業所」の順であった。（P.3_図4）
- 求職者のうち、51.0%が「未就業または看護職以外で就業中」で、「就業中（看護職）」は45.3%であった。（P.5_図6）

1. 求職者数・求人数・求人倍率の推移

- 2024年度の求職者数は68,724人、求人数は172,522人であった。求職者数は2023年度の79,151人から10,427人、13.17%減少した。求人数は2023年度の175,964人から3,442人、1.96%減少した。（図1）
- 2024年度の求人倍率は2.51倍であり、2023年度の2.22倍から0.29ポイント増加した。（図1）
- 2009年度以降、求職者数は6～7万人台で推移し、2021年度に13万人を超えたが、2024年度は6万人台まで減少した。求人数は2021年度以降、17万人台で推移している。（図1）

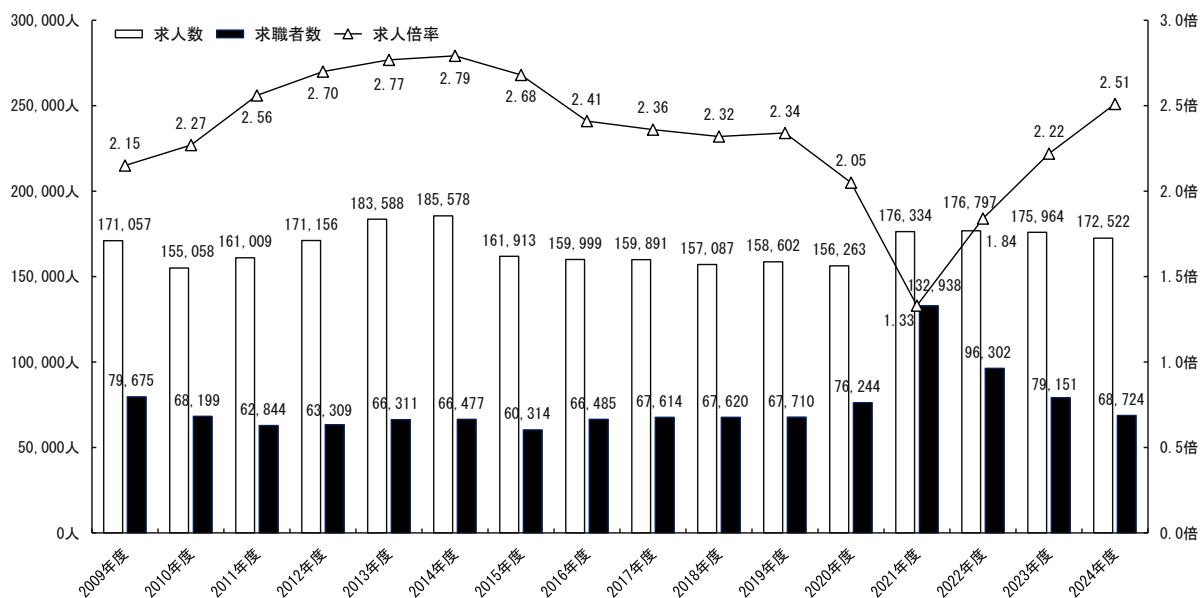


図1 求職者数、求人数、求人倍率の推移¹

¹ 2015年度の求人数、求職者数、求人倍率の低下は、2015年4月に行われたナースセンターの登録データの管理システムの変更が要因と考えられる。2021年度の求職者数の増加は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種業務就業準備金の支給条件として、eナースセンターの登録を求めていることも要因の一つと考えられる（2021年5月21日～12月4日）。